

子どもたちの健全な成長をめざして



いま、
どんなきもち？

何かトラブルがあったときに、言葉が出てこず、もどかしくて悔しくて思わず手が出てしまった、また、シクシク泣いていて「どうしたの？」と聞いてもなかなか答えられない…子どもの世界ではよくあることです。大人の世界でも動機を問われて「むしゃくしゃしたからやった」という言葉で表現する人もいます。「気持ち」には形がありませんし、体のどのあたりにあるのかもはっきりしません。でも、私たちは一生この「気持ち」というものに付き合っていかななくてははいけません。

また、ここ数年、コロナ禍でみんながマスクを着用しているため、表情がわからず、お互いの気持ちがわかりにくく、トラブルになることもありました。



トラブルが起きた時に暴力という手段を選ばずに問題を解決するためには自分の感情に気づく必要があります。腹立たしいという感情を言葉に置き換え、自分の気持ちを客観化することが大事です。そのためには感情を言葉で表す練習をする必要があります。

学校では右下のようなポスターを教室に掲示し、例えば、朝の健康観察の時に体の調子とともに心の調子もポスターに書いてあることばで発表したり、自分の気持ちをなかなか言えない子には「どの気持ちが今のあなたに近い？」と聞いてポスターを指さしてもらったりと色々な場面で活用しています。

ポスターには16の気持ちが載っていますが、本当はそれ以上にいろいろな感情があるはずで、語彙が少ない子どもには「また“チクチク虫”が出てきた」とか「今の気持ちは“フカフカじゅうたん”だよ」というように「今の気もちに名前を付けてごらん？」と名前を付けさせることも有効です。「やばい」「ムカつく」のように簡単な言葉で済ませてしまっていますが、名前をつけることでより自分の気持ちに向き合うことができます。「いまどんなきもち」のポスターは、大人教（大阪府人権教育研究協議会）のHPからもダウンロードできます。ご家庭でもぜひお試しください。

いま、どんなきもち？



大阪府人権教育研究協議会

マスクについてのお願い 令和5年度、市内小中学校では、マスクの着用が子どもたちの自由になっています。本校児童の非着用率は、4月のスタート時は、全体で1～2割でした。低学年ほど非着用率が高い傾向でした。5月8日の5類移行を受け、全体で3～4割に増加しましたが、まだまだ、感染への不安や恥ずかしさがあるようです。

自由ではありますが、外したいけど（「みんなが外していないから」「恥ずかしいから」）外せない子どもたちがいるとすれば、なんとか外すきっかけを（例えば、これから暑くなるので、登下校や外遊びから外し始めるなど）作ってあげたいと思います。一人ひとり思いも異なると思われるので、ご家庭でもお話していただくと助かります。

なお、給食準備時のマスクは、衛生上、全員着用ですので、よろしくお願いいたします。

個人懇談・日曜参観のお礼 4月の「授業参観・学級懇談」に続き、5月の「個人懇談」「日曜参観」には、お忙しい中、子どもたちのためにご来校いただき、ありがとうございました。まず「個人懇談」では、5日間の日程、17時までの時程にご協力いただき感謝しております。短い時間ではありますが、年度当初に担任が対面でお話できたことはたいへん意義のあることです。今後、何かありましたら、まずは担任まで一報をお願いいたします。次に「日曜参観」ですが、制限がなくなり、コロナ禍以前のように、たいへん多くの方々にご参観いただきました。込み合いましたが、譲り合っていただきありがとうございました。いずれも、子どもたちには、たいへん励みになる行事ですので、今後も、ご協力ご参加よろしくお願いいたします。次は、6月21日(水)の「学校一日公開」です。

春の「校外学習」 「校外学習」は、子どもたちが楽しみにしているだけでなく、学級や学年の親睦を深める目的もあるので、春に実施できることはたいへん意義があります。今年度も、学級がスタートした春の時期に、全学年、実施できそうです。

4/25(火)③年「京都水族館」 4/27(木)⑥年「奈良：東大寺、若草山」

4/28(金)④年「くるくるプラザ、万博公園」、②年「服部緑地公園」

5/9(火)①年「江坂公園」 残るは⑤年の6/15・16(木・金)「林間学習」です。

自然いっぱいの兵庫県八幡高原で、登山や魚つかみ、キャンプファイヤーをする予定です。

卒業式の服装について 3月に予定されている卒業式は、6年生にとって最後の授業であり、晴れの舞台でもあります。



さて、卒業式に着る服装のなかにはずいぶん高価なものや、早くから予約が必要なものがあつたりすると聞いております。また、本校の話ではありませんが、クラブの仲間や仲良しグループで「全員で服装を揃えて参加しよう。」ということになり、1人だけが抜けにくい状況の中、ご家庭への負担が大きく、問題になったこともあるそうです。

服装は原則自由ではありますが、卒業式後の着る機会、購入やレンタルの費用等も考えながら、小学校の卒業式という式典に相応しい服装を、お子様とご家庭でよく話し合ってください、華美にならないようにしていただけたらと考えております。

早い時期からの予約が必要な場合もあると聞きましたので、この時期にお願いしております。6年生が対象ではありますが、いずれすべての児童が卒業を迎えますので、学校の見解としてお知らせしました。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。